

「2016年度 福井全中に参加して」

帯広市立西陵中学校男子バスケットボール部

顧問 坂田明彦

北海道の代表として、第46回全国中学校バスケットボール大会に出場しました。多くの方々に声をかけていただき、支えて頂きました。

ジュニア連盟の会報用に「全中出場の報告」の依頼文が来た時に、正直何を書いていいかわかりませんでした。過去、現在とも全国に向けて、素晴らしい取り組みをされた指導者の方はたくさんいるでしょうし、私などが…と考えています。しかしながら、私のように悩んでいる指導者の励みになればと思い、飾らず正直に報告をいたします。

西陵中学校男子バスケットボール部では大会ごとに試合報告として、部報を出してきました。記録として残すためや、次の試合に生かすため、今の私自身が何を考えていたか…などの記録です。

1999年に優れた選手たちに巡り合い、音更町立音更中女子で福井全中に出場しました。30歳の時です。47歳の今、優れた選手に巡り合い、全中出場のチャンスを頂き実現できました。しかし、北海道ミニチャンピオンチームを全国に出場できなかった年もあり、正直、苦悩と向き合う連続でした。

諦めずに、頑張っていれば行けるかという、そういうものでもありません。しかし、頑張っていないければ絶対につながらない大会ということははっきりと言えます。

バス会社探し

交通の便が難しい福井県は必ずチームバスが必要です。北海道はブロック大会が早く、少しでも保護者の負担が少なく済むように、バス会社を手あたり次第調べました。まずは本気度を見せないと引き受けてくれないと思い、より具体的な行程表を作成し、FAXして交渉しました。破格に安く5泊6日の日程で引き受けてくれる会社が決まりました。大会公式幹旋は1日9万～10万。今回は観光付きで5泊6日で19万 - 20万弱。(観光つき)

スカウティングと練習

各ブロック地区のサイトでスタッツ&戦評を用意。十勝の先輩の先生に頼り試合のDVDを入手。そして、知り合いのコーチにお願いし対戦チームの情報をまとめ、とにかく情報収集しました。そして、マッチアップやその選手の特徴などを選手に配布し準備をしました。もう、出発3～4日前には誰が誰をマッチアップするか決まっていました。また、卒業生が練習に駆けつけてくれました。対戦相手対策ができました。

また、2015年度のチームのプレー（ナンバープレー）と、2016年度のチームのプレーはすべて変更しました。特に十勝地区大会でも、夏の大会から変えました。他のチームがスカウティングするためです。ベースラインインバウンドはACの工藤知里先生が考え、サイドラインインバウンドは3年生の選手が考え、プレー中のナンバープレーは私が準備して練習しました。どれも中・3ポイントを含めたものでした。

練習会場探し

前々日練習の日、大会前日公式練習の2日間が必要でした。

飛行機到着の時間から、大会主催者用意の前々日練習が間に合わないと判断し、Google map で探しま

した。候補6体育館ありました。動線を考え決定。2時間1000円。しかし、小松空港で出会った愛宕の堀口先生から、前々日練習の会場を西陵がとっていることを知らされ（本当は申し込んでいないのに予約されていた）、大会事務局に連絡確認し、そこで練習。更に移動し練習しました。ラッキーでした。

また、前日は公式練習し、移動。北陸高校をお借りし、1時間半ほど練習をしました。

補食

近くのドラッグストアが改装前閉店セールで全商品30%オフ。そこで滞在期間のゼリーや補食を9割購入。コストパフォーマンスではどのチームに負けませんでした。

給水

チームの保護者の方がダンボール事ホテルに差し入れしてくれました。また、要所で購入しました。給水には気を配りました。

エアコン

選手はすべて宴会会場にすし詰め状態でした。温泉だったので、夜はなるべく時間をとって、朝もリフレッシュするためにはや風呂かシャワー程度として温泉に入ることを許可しました。エアコンが効きすぎて、さらに自動コントロールできない状態で体が冷えすぎたためです。

試合の実際

2試合しかしていませんので、参考になるかわかりません。マンツーマンディフェンスの導入初年度ということで、コミッショナーにはよく注意を受けました。内容の多くは3線目のディフェンスがマイマンを結んでいないことによるものでした。

また、各チームエースによるアイソレーションが多く、また早く、そこをどう抑えるかが課題になりました。スクリーンの外し方や、要所のダブルチーム・トラップ・ブリッツ、3線のとらえ方、ミスマッチでの対応。アウトサイドのシュートからのリバウンドもゲームを決める大きな要素だったと痛感しました。

また、勝つためには、チームとして行うことの移行が速いこと、ショットまでの時間、フリーランスかナンバープレーか、チームのレギュラーオフェンスで入るかが明確になっていることも重要だったと反省しています。

試合報告（部報）

部報は、下記のように掲載します。①スタッツ、②感想です。

①スタッツは例として全中のものを掲載します。②感想は、全中から全道という北海道北大会まで掲載します。私もまだまだの指導者ですが、悩んでいる方の参考になれば幸いです。

全中の試合報告（部報より抜粋）

創徳が3点差で今治南に勝利した時に、今治南のキャプテンはコートに膝をつきました。そして私は三つ巴をすぐ予感しました。

予選リーグ1試合目の創徳は4番7番が中心のチームで、最終的に7番に36点スコアリングされました。第1Q、西陵中は集中した試合の入りで18-4と全国ではありえないような好スタートを切りました。徐々に追いつかれるも、最終的には道のフリースローが決まり、1点差で勝つことができました。全国初勝利に手ごたえを感じました。試合が終わって、1ゲームしか空きがないことから創徳戦で消耗し削られたスタミナはなかなか戻るものではありません。しかし、今治南戦も集中した入りで戦いました。2Qの2点は、ベンチで策を施さなければならなかったのですが、フリーランスでいけない時

用に準備したナンバープレーを使う判断をできず、第2Qを乗り切ることができませんでした。積み重ねなく、プレーに信頼なくして武器にはなりません。徹底した3ポイントを狙った追い上げもできず敗退となりました。よって3年生はこの試合で引退です。全国大会の出場チームは24チーム。創徳に勝っているのです、私の中では全国ベスト23。よく頑張りました。全国で勝つには、「タフな試合を1ゲーム空きで3日間こなせる」こと。その準備に、昨年のスタートに私が負けたことに悔いが残りました。

(以下省略)

最後になりますが選手とともに駆け抜けた3年間(2年間)は苦しくも思い出になるものでした。チームが強くて弱くても、バスケットボールを楽しもうとする子供たちと、これからも一緒に過ごしていこうと思います。

また、北海道ジュニア連盟の荒澤会長をはじめ、役員の方々、先輩の先生方にはたくさんの励ましの言葉をかけて頂きました。感謝いたします。ありがとうございました。

予選1 西陵				予選2 西陵														
出場	TP	3P	2P	FT	F	出場	TP	3P	2P	FT	F	出場	TP	3P	2P	FT	F	
4 高橋(彪)	3	S	16	14	2	4	4 S	16	9	6	1	3	4	0				
5 佐々木	3	S	20	20		4	5 S	13	12	1	3	5	0					
6 柴田	3	S	4	4		1	6 S	9	6	3	3	6	0					
7 道	3	S	11	10	1	4	7 S	13	10	3	5	7	0					
8 横澤	3	*	0				8 *	0				8	0					
9 佐藤(岳)	3	S	5	4	1	4	9 S	4	4			9	0					
10 角田	3	DNP	0				10 DNP	0				10	0					
11 沢井	3	DNP	0				11 DNP	0				11	0					
12 澤田	2	DNP	0				12 DNP	0				12	0					
13 斎藤	2	DNP	0				13 DNP	0				13	0					
14 触沢	2	DNP	0				14 DNP	0				14	0					
15 高橋(凜)	2	DNP	0				15 DNP	0				15	0					
16 笠原	2	DNP	0				16 DNP	0				16	0					
17 目黒	2	DNP	0				17 DNP	0				17	0					
18 小笠原	2	DNP	0				18 DNP	0				18	0					
56 0 52 4 17				55 9 38 8 14				0 0 0 0 0				0 0 0 0 0						

左：西陵 1Q 18 - 4
 右：相手 2Q 15 - 15
 3Q 14 - 20
 4Q 9 - 16

○ 56 55

● 55 69

0 0

0 0

予選1 創徳				予選2 今治南														
出場	TP	3P	2P	FT	F	出場	TP	3P	2P	FT	F	出場	TP	3P	2P	FT	F	
4 中川	4	S	7	3	4		4 S	22	18	4	4	4	4	0				
5 日下部	5	S	6	6		1	5	0				5	0					
6 武田	6	S	2	2		1	6	0				6	0					
7 相羽	7	S	36	26	10	2	7 S	19	14	5	5	7	0					
8 市川	8	S	2	2		2	8	0				8	0					
9 山本	9		0				9	0				9	0					
10 伊東	10		0				10 S	16	3	8	5	2	10	0				
11 益川	11		0				11 *	0			2	11	0					
12 林	12		0				12 S	0				12	0					
13 馬場	13	*	2	2			13	0				13	0					
14 村上	14		0				14 *	12	12		2	14	0					
15 高橋	15		0				15	0				15	0					
16 猪原	16		0				16 S	0				16	0					
17 辻	17		0				17	0				17	0					
18 今野	18		0				18	0				18	0					
55 3 42 10 6				69 3 52 14 15				0 0 0 0 0				0 0 0 0 0						